学校番号	3017

令和２年度　英語科

教科	英語	科目	総合英語	単位数	前２　後３	年次	１年次
校内名称	英語Ｒ・英語Ｇ・英語表現			ユニット数	英語 R1.5 英語 G1.5 英語表現 1.0	必選別	必
使用教科書	英　　Ｒ：①UNICORN English Communication 1 New Edition(文英堂)						
副教材等	英　　Ｒ：②高校英語入門 スタート前の基礎固め NICE START（文英堂） ③コンパクト英語構文９０（数研出版） ④Viewpoint Standard（数研出版） ⑤The Wizard of Oz（数研出版） 英　　Ｇ：⑥基礎からの新々総合英語(数研出版) ⑦基礎からの新々総合英語 Grand View English Grammar in 48 Stages（数研出版） ⑧基礎からの新々総合英語 Grand View English Grammar in 48 Stages Workbook（数研出版） 英語表現：⑨Basic Skills for the TOEFL iBT　Listening 1(Compass Publishing) ⑩改訂版英語の発音ノート（数研出版） ⑪システム英単語（駿台文庫）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

☆高校の英語について☆

　中学校での英語教材と比べると、単語量・英文量が増え、内容も難しくなるため、毎日の予習・復習が不可欠になる。中学校時代とは求められる学習の仕方や量が全く異なるため、授業担当者の説明を良く聞いて指示に従うこと。

＜英語Ｒ＞

教材①の予習をして授業に臨むこと。

[予習]１）教科書本文を読んで付属の設問に答える。２）分からない単語・熟語は辞書で調べる。３）本文を全訳してくる必要はない。

　初見の文章を自分の力で読むことが大切なので、必ず授業を受ける前に上記を行うこと。先に授業での解説を聞いてしまえばその意義が薄れてしまう。当然予習の段階で全て理解できるわけではないので、分かりにくい部分などをチェックしておいてその部分を授業で解決しよう。

[授業]予習で分からなかったことを確認する。本文の英語表現が自分のものとなるように、授業中の音読・ペアワーク・発言などの活動に積極的な態度で参加すること。

[復習]教材の内容を理解しながら、よどみなく読めるようになるまで音読の練習をする。

＜英語Ｇ＞

教材⑥⑦の予習をして授業に臨む。

[予習]授業範囲において、教材⑥の対応箇所を熟読してから、教材⑦の左ページの説明を読み、右ページの問題を授業用ノートに回答する。

[授業]ペアワーク等による問題確認を通して、予習した範囲に沿って授業を展開する。

[復習]教材⑧の演習問題等により、文法知識の定着をはかる。

＜英語表現＞

リスニングパート：TOEFL 形式の教材⑨を使用し、４技能型試験で問われるレベルのリスニング力を養う。スピーキングパート：教材⑩を使用し、英語の発音・アクセントに関するルールと正確な発音を学ぶ。また、授業はネイティブスピーカーによるスピーキングの実践的授業を行う。これらを組み合わせ、４技能型試験において高得点を獲得することができる思考力・英語運用能力を養う

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・論点の明らかな英文を読み、また、話された英文を聞いて、それぞれのポイントを捉えて、その概要を簡潔に話すことができる。 ・自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ないで理由と具体例を添えて短く説明することができる。	総英 ・グループプレゼンテーション 総英 ・グループプレゼンテーション ・インタビューテスト	・複数の段落で、序論・本論・結論を意識して、時間をかけた修正を経て、自分の意見をわかりやすく書くことができる。 ・自分のよく知っているトピックに関して、参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を書くことができる。	総英 ・エッセーライティング ・定期考査	・自然な速さで話されるスピーチや会話（3～5分）を聞いて、要点をつかみながら内容を理解することができる。 ・自然、化学、芸術、文学等の多様なテーマの会話、スピーチ、講義等において、なじみのないことでも全体の概要を理解することができる。	総英 ・リスニングテスト ・定期考査	・よく知っている分野の説明書や記事、契約書などの要旨を理解することができる。 ・難しい部分は読み返す等しながら、ある程度まとまった文章や小説などの全体の要旨を理解することができる。	総英 ・暗唱テスト ・定期考査 総英 ・定期考査

3　学習評価(評価規準と評価方法)　英語Ｒ・英語Ｇ・英語表現共通

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「話すこと」と書くことの到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「読むこと」と「聞くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に分配し、評価します。				

４－１　学習の活動（英語Ｒ）

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 1 (4 時間)	Photojournalist の仕事についてとその社会的な役割について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		写真によって世界中の深刻な問題について人々に知らせることの効果について自分の意見を述べることができる。	「ことば」の役割について、積極的に話し合ったり、意見の交換をしている。	ペアワークによる言語活動ができたか。	ペアワークによる言語活動を観察する。
		外国語表現の能力			
		基本的な文のパターン、動名詞、助動詞を用いた文を正しく書くことができる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。Photojournalist という職業について正しい英文を書くことができる。	動名詞、助動詞を使って、適切に書くことができたか。	定期テスト
		外国語の理解の能力			
		photojournalist の役割について、正しく読み取ることができる。	筆者の photojournalist という仕事への思いを正しく読み取る。	穴埋め、部分訳で正しく文を完成できたか。	定期テスト
		言語や文化についての知識・理解			
		photojournalist の役割を正しく理解する。	基本的な文のパターン、動名詞、助動詞を理解する。	言語、文化に関する英問、英答問題ができたか。	定期テスト

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 3 (4 時間)	アルマの生涯とバイオリンがそれに与えた影響について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		バイオリンがアルマの生涯に与えた影響を積極的に話している。	バイオリンがアルマに与えた影響を、間違えることを恐れずに積極的に話す。	ペアワークによる言語活動ができたか。	ペアワークによる言語活動を観察する。
		外国語表現の能力			
		現在完了、不定詞、〈S＋V＋0（0=疑問詞節/if 節）〉を用いた文を正しく書くことができる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	現在完了、不定詞を使って適切に書くことができたか。	定期テスト
		外国語の理解の能力			
		アルマの生涯について正しく読み取ることができる。	バイオリンがアルマの人生をどう変えたかを正しく読み取る。	内容把握の問題ができたか。	定期テスト
		言語や文化についての知識・理解			
		現在完了、不定詞、〈S＋V＋0（0=疑問詞節/if 節）〉を正しく理解する。	１９００年代前半のドイツの情勢について理解する。	言語、文化に関する英問、英答ができたか。	定期テスト

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 4 (4 時間)	マダガスカルにおける森林の重要性と NGO 団体の取り組みについて考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		森林の役割について、積極的に話し合うことができたか。	本文で述べられている以外の森林の役割について、積極的に話し合う。	ペアワークによる言語活動ができたか。	ペアワークによる言語活動を観察する。
		外国語表現の能力			
		関係代名詞、分詞の形容詞的用法、〈S＋is＋C（C＝that 節）〉の文を正しく書くことができる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	関係代名詞、分詞などを用いて適切に書くことができたか。	定期テスト
		外国語の理解の能力			
		マダガスカルの森林の減少が及ぼす影響を、正しく読み取ることができる。	マダガスカルの森林の減少が及ぼす影響を、正しく読み取ることができる。	内容把握の問題ができたか。	定期テスト
		言語や文化についての知識・理解			
		関係代名詞、分詞の形容詞的用法、〈S＋is＋C（C＝that 節）〉の文法を理解する。	森林の減少の影響と、それに対する対策について学ぶ。	言語、文化に関する英問、英答ができたか。	定期テスト

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 5 (4 時間)	メタンハイドレートとは何か、またそれが何故重宝されているか考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		読んだ内容について意見や感想を述べることができる。	読んだ内容について意見や感想を述べる。	ペアワークによる言語活動ができたか。	ペアワークによる言語活動を観察する。
		外国語表現の能力			
		関係代名詞 what、過去完了、〈S＋V＋O＋C（C＝原形不定詞、V＝知覚動詞・使役動詞）〉の文を正しく書く。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書く。	関係代名詞・過去完了などを使って、適切に書くことができたか。	定期テスト
		外国語の理解の能力			
		メタンハイドレートがどのような物質で、どのように用いられるかを、正しく読み取ることができる。	メタンハイドレートの活用法を正確に読み取ること。	内容把握の問題ができたか。	定期テスト
		言語や文化についての知識・理解			
		関係代名詞 what、過去完了、〈S＋V＋O＋C（C＝原形不定詞、V＝知覚動詞・使役動詞）〉を理解する。	メタンハイドレートを活用する際の困難について知る。	言語、文化に関する英問英答ができたか。	定期テスト

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 6 (4 時間)	エル・システマとオーケストラのもたらす力について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		オーケストラのもたらす力についての自分の考えを、間違えることを恐れずに話すこと。	にオーケストラのもたらす力ついての自分の考えを、間違えることを恐れずに話す。	ペアワークによる言語活動ができたか。	ペアワークによる言語活動を観察する。
		外国語表現の能力			
		関係副詞、〈S＋V＋O＋C（C＝分詞）〉、〈S＋V＋C（C＝分詞)〉の文を正しく書くことができる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書く。	関係副詞等を用いて、適切な英文を書くことができたか。	定期テスト
		外国語の理解の能力			
		エル・システマとオーケストラについて、正しく読み取ることができる。	エル・システマとオーケストラに至った背景について、正しく読み取ることができる。	内容に関する英問英答ができたか。	定期テスト
		言語や文化についての知識・理解			
		関係副詞、〈S＋V＋O＋C（C＝分詞）〉、〈S＋V＋C（C＝分詞)〉を理解する。	オーケストラについて理解する。	言語、文化に関する英問、英答ができたか。	定期テスト

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 7 （4 時間）	レム睡眠・ノンレム睡眠について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		話の要点に注意して聞き、積極的に聞こうとしている。	理解できないところや聞き取れないところを質問したり、聞き返したりして理解する。	ペアワークによる言語活動ができたか。	ペアワークによる言語活動を観察する。
		外国語表現の能力			
		分詞構文、形式主語、同格などを用いた文を正しく書くことができる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	分詞構文、形式主語、同格などを用いた文を正しく書くことができるか。	定期テスト
		外国語の理解の能力			
		レム睡眠・ノンレム睡眠について正しく読み取ることができる。	レム睡眠・ノンレム睡眠について、ポイントを押さえながら読むことができる。	内容把握に関する問題ができたか。	定期テスト
		言語や文化についての知識・理解			
		分詞構文、形式主語、同格などの文法を理解する。	眠りの仕組みについて知識を深める。	言語、文化に関する英問、英答問題ができたか。	定期テスト

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 8 （4 時間）	村上春樹の作品の特徴について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		村上春樹の作品について、間違えることを恐れずに話す。	村上春樹についての質問に対して、答える。	ペアワークによる言語活動ができたか。	ペアワークによる言語活動を観察する。
		外国語表現の能力			
		seem to／it seems that、受動態の完了形、形式目的語 it の文を正しく書くことができる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	seem to／it seems that、受動態の完了形、形式目的語 it の文を正しく書くことができたか。	定期テスト
		外国語の理解の能力			
		村上春樹の作品の特徴について正しく理解する。	村上春樹の作品の特徴とその変化について、正しく読み取ることができる。	内容把握の問題ができたか。	定期テスト
		言語や文化についての知識・理解			
		seem to／it seems that、受動態の完了形、形式目的語 it を理解する。	村上春樹がいかに世界中で認知されているかを知る。	言語、文化に関する英問、英答ができたか。	定期テスト

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 9 (5 時間)	垂直農業について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		内容の展開を理解しながら読み、読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。	食糧問題に対する解決策を、よりうまく伝えるように工夫している。	ペアワークによる言語活動ができたか。	ペアワークによる言語活動を観察する。
		外国語表現の能力			
		仮定法過去、〈S＋V＋01＋02（02＝疑問詞節）〉、付帯状況の with の文を正しく書くことができる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書く。	仮定法過去、〈S＋V＋01＋02（02＝疑問詞節）〉、付帯状況の with の文を正しく書くことができたか。	定期テスト
		外国語の理解の能力			
		垂直農業がどのようなものか理解する。	垂直農業のメリットとデメリットについての概要を把握する。	内容把握に関する問題ができたか。	定期テスト
		言語や文化についての知識・理解			
		仮定法過去、〈S＋V＋01＋02（02＝疑問詞節）〉、付帯状況の with を理解する。	垂直農業が今後どのように実践されていくかを知る。	言語、文化に関する英問、英答ができたか。	定期テスト

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 10 (5 時間)	言葉の意図と捉えられ方について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		自分の言葉が意図したものと違う形で捉えられた経験について積極的に話している。	言葉の伝わり方について自分の考えを積極的に話す。	ペアワークによる言語活動ができたか。	ペアワークによる言語活動を観察する。
		外国語表現の能力			
		部分否定、used to／would、〈助動詞＋be＋過去分詞（助動詞＋受け身）〉の文を正しく書くことができる。	伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	部分否定、used to／would、〈助動詞＋be＋過去分詞(助動詞＋受け身)〉の文を正しく書くことができたか。	定期テスト
		外国語の理解の能力			
		筆者の論点を正しく読み取ることができる。	言葉の伝わり方について正しく読み取ることができる。	内容把握の問題ができたか。	定期テスト
		言語や文化についての知識・理解			
		部分否定、used to／would、〈助動詞＋be＋過去分詞（助動詞＋受け身）〉を理解する。	言葉の伝わり方と人間関係について考える。	言語、文化に関する英問、英答ができたか。	定期テスト

４－２　学習の活動（英語Ｇ）

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 1～4 (1時間)	文の種類・構造	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		文の種類・構造に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	文の種類・構造を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		文の種類・構造について理解し、問題演習において使用する。	文の種類・構造に関する問題演習を行う。	文の種類・構造について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		文の種類・構造について、意味や用途を判断する。	文の種類・構造に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	文の種類・構造について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		文の種類・構造について正しく理解する。	文の種類・構造の用法を確認する。	文の種類・構造について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 5～9 (1時間)	基本時制・進行形・完了形	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		基本時制・進行形・完了形に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	基本時制・進行形・完了形を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		基本時制・進行形・完了形について理解し、問題演習において使用する。	基本時制・進行形・完了形に関する問題演習を行う。	基本時制・進行形・完了形について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		基本時制・進行形・完了形について、意味や用途を判断する。	基本時制・進行形・完了形に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	基本時制・進行形・完了形について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		基本時制・進行形・完了形について正しく理解する。	基本時制・進行形・完了形の用法を確認する。	基本時制・進行形・完了形について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 10～13 (2時間)	助動詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		助動詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	助動詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		助動詞について理解し、問題演習において使用する。	助動詞に関する問題演習を行う。	助動詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		助動詞について、意味や用途を判断する。	助動詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	助動詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		助動詞について正しく理解する。	助動詞の用法を確認する。	助動詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 14, 15 (1時間)	動詞の態	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		動詞の態に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	動詞の態を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		動詞の態について理解し、問題演習において使用する。	動詞の態に関する問題演習を行う。	動詞の態について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		動詞の態について、意味や用途を判断する。	動詞の態に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	動詞の態について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		動詞の態について正しく理解する。	動詞の態の用法を確認する。	動詞の態について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 16～18 (2時間)	不定詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		不定詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	不定詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		不定詞について理解し、問題演習において使用する。	不定詞に関する問題演習を行う。	不定詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		不定詞について、意味や用途を判断する。	不定詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	不定詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		不定詞について正しく理解する。	不定詞の用法を確認する。	不定詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 19,20 (2時間)	動名詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		動名詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	動名詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		動名詞について理解し、問題演習において使用する。	動名詞に関する問題演習を行う。	動名詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		動名詞について、意味や用途を判断する。	動名詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	動名詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		動名詞について正しく理解する。	動名詞の用法を確認する。	動名詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 21～23 (3時間)	分詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		分詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	分詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		分詞について理解し、問題演習において使用する。	分詞に関する問題演習を行う。	分詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		分詞について、意味や用途を判断する。	分詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	分詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		分詞について正しく理解する。	分詞の用法を確認する。	分詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 24～26 (3時間)	比較	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		比較に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	比較を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		比較について理解し、問題演習において使用する。	比較に関する問題演習を行う。	比較について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		比較について、意味や用途を判断する。	比較に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	比較について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		比較について正しく理解する。	比較の用法を確認する。	比較について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 27～30 (4時間)	関係詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		関係詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	関係詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		関係詞について理解し、問題演習において使用する。	関係詞に関する問題演習を行う。	関係詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		関係詞について、意味や用途を判断する。	関係詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	関係詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		関係詞について正しく理解する。	関係詞の用法を確認する。	関係詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 31, 32 (2時間)	仮定法	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		仮定法に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	仮定法を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		仮定法について理解し、問題演習において使用する。	仮定法に関する問題演習を行う。	仮定法について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		仮定法について、意味や用途を判断する。	仮定法に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	仮定法について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		仮定法について正しく理解する。	仮定法の用法を確認する。	仮定法について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 33, 34 (2時間)	時制の一致と話法	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		時制の一致と話法に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	時制の一致と話法を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		時制の一致と話法について理解し、問題演習において使用する。	時制の一致と話法に関する問題演習を行う。	時制の一致と話法について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		時制の一致と話法について、意味や用途を判断する。	時制の一致と話法に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	時制の一致と話法について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		時制の一致と話法について正しく理解する。	時制の一致と話法の用法を確認する。	時制の一致と話法について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 35, 36 (2時間)	否定	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		否定に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	否定を用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		否定について理解し、問題演習において使用する。	否定に関する問題演習を行う。	否定について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		否定について、意味や用途を判断する。	否定に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	否定について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		否定について正しく理解する。	否定の用法を確認する。	否定について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 37 (1時間)	強調・倒置 省略・挿入・同格	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		強調・倒置 省略・挿入・同格に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	強調・倒置 省略・挿入・同格を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		強調・倒置 省略・挿入・同格について理解し、問題演習において使用する。	強調・倒置 省略・挿入・同格に関する問題演習を行う。	強調・倒置 省略・挿入・同格について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		強調・倒置 省略・挿入・同格について、意味や用途を判断する。	強調・倒置 省略・挿入・同格に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	強調・倒置 省略・挿入・同格について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		強調・倒置 省略・挿入・同格について正しく理解する。	強調・倒置 省略・挿入・同格の用法を確認する。	強調・倒置 省略・挿入・同格について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 38 (1時間)	無生物主語 名詞構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		無生物主語 名詞構文に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	無生物主語 名詞構文を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		無生物主語 名詞構文について理解し、問題演習において使用する。	無生物主語 名詞構文に関する問題演習を行う。	無生物主語 名詞構文について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		無生物主語 名詞構文について、意味や用途を判断する。	無生物主語 名詞構文に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	無生物主語 名詞構文について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		無生物主語 名詞構文について正しく理解する。	無生物主語 名詞構文の用法を確認する。	無生物主語 名詞構文について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 39, 40 (2時間)	接続詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		接続詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	接続詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		接続詞について理解し、問題演習において使用する。	接続詞に関する問題演習を行う。	接続詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		接続詞について、意味や用途を判断する。	接続詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	接続詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		接続詞について正しく理解する。	接続詞の用法を確認する。	接続詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 41 (1時間)	名詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		名詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	名詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		名詞について理解し、問題演習において使用する。	名詞に関する問題演習を行う。	名詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		名詞について、意味や用途を判断する。	名詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	名詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		名詞について正しく理解する。	名詞の用法を確認する。	名詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 42 (1時間)	冠詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		冠詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	冠詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		冠詞について理解し、問題演習において使用する。	冠詞に関する問題演習を行う。	冠詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		冠詞について、意味や用途を判断する。	冠詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	冠詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		冠詞について正しく理解する。	冠詞の用法を確認する。	冠詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 43, 44 (2時間)	代名詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		代名詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	代名詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		代名詞について理解し、問題演習において使用する。	代名詞に関する問題演習を行う。	代名詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		代名詞について、意味や用途を判断する。	代名詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	代名詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		代名詞について正しく理解する。	代名詞の用法を確認する。	代名詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 45 (1時間)	形容詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		形容詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	形容詞を用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		形容詞について理解し、問題演習において使用する。	形容詞に関する問題演習を行う。	形容詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		形容詞について、意味や用途を判断する。	形容詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	形容詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		形容詞について正しく理解する。	形容詞の用法を確認する。	形容詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 46 (1時間)	副詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		副詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	副詞を用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		副詞について理解し、問題演習において使用する。	副詞に関する問題演習を行う。	副詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		副詞について、意味や用途を判断する。	副詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	副詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		副詞について正しく理解する。	副詞の用法を確認する。	副詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Lesson 47,48 (2時間)	前置詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		前置詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	前置詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		前置詞について理解し、問題演習において使用する。	前置詞に関する問題演習を行う。	前置詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		前置詞について、意味や用途を判断する。	前置詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	前置詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		前置詞について正しく理解する。	前置詞の用法を確認する。	前置詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
OL1 (1時間)	接続詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		接続詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	接続詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		接続詞について理解し、問題演習において使用する。	接続詞に関する問題演習を行う。	接続詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		接続詞について、意味や用途を判断する。	接続詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	接続詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		接続詞について正しく理解する。	接続詞の用法を確認する。	接続詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
OL2 (1時間)	名詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		名詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	名詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		名詞について理解し、問題演習において使用する。	名詞に関する問題演習を行う。	名詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		名詞について、意味や用途を判断する。	名詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	名詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		名詞について正しく理解する。	名詞の用法を確認する。	名詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
OL3 (1時間)	冠詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		冠詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	冠詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		冠詞について理解し、問題演習において使用する。	冠詞に関する問題演習を行う。	冠詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		冠詞について、意味や用途を判断する。	冠詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	冠詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		冠詞について正しく理解する。	冠詞の用法を確認する。	冠詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
OL4 (1時間)	代名詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		代名詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	代名詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		代名詞について理解し、問題演習において使用する。	代名詞に関する問題演習を行う。	代名詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		代名詞について、意味や用途を判断する。	代名詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	代名詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		代名詞について正しく理解する。	代名詞の用法を確認する。	代名詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
OL5 (1時間)	疑問詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		疑問詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	疑問詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		疑問詞について理解し、問題演習において使用する。	疑問詞に関する問題演習を行う。	疑問詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		疑問詞について、意味や用途を判断する。	疑問詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	疑問詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		疑問詞について正しく理解する。	疑問詞の用法を確認する。	疑問詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
OL6 (1時間)	群前置詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		群前置詞に焦点を当てた表現を用いてペアまたはグループで会話を行う。	ペアワーク及びグループワークで予習時の疑問点を共有して解決し、問題文を使用した応答を行う。	群前置詞を正しく判別し、それを用いて適切な表現で応答ができる。	ペアでの言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		群前置詞について理解し、問題演習において使用する。	群前置詞に関する問題演習を行う。	群前置詞について正しく理解し、適切に使用することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		群前置詞について、意味や用途を判断する。	群前置詞に焦点をあてた英文による導入を理解し、演習問題の要点を理解する。	群前置詞について意味や用途を正しく判断し、明確に他の表現との区別ができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		群前置詞について正しく理解する。	群前置詞の用法を確認する。	群前置詞について正しく理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

４－３　学習の活動（英語表現）

単元（配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Basic Skills for the TOEFL iBT Listening 1 Unit 1～3（6時間）	History, Art, Zoology	「コミュニケーションへの関心･意欲・態度」			
		ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	ペアワーク及びグループワークで時制および場所に焦点を当てた会話練習を行う。	ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		一週間のスケジュールや場所を説明する。	ペアワーク及びグループワークで時制および場所に焦点を当てた会話練習を行う。	一週間のスケジュールや場所を適切な時制や前置詞を用いて説明する。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		歴史・芸術・動物学についてまとまった量の会話や講義を聴き、要旨を把握する。	歴史・芸術・動物学についてのまとまった文を聴く。	歴史・芸術・動物学についてのまとまった文について、内容把握問題に解答することができる。	定期考査のリスニングテストにおいて、内容理解を問う出題により用紙の把握ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識･理解」			
		母音の発音記号と音声を結びつける。	母音の発音記号について、発音練習を行う。	母音について音声を正しく理解し発音しているか。	定期考査の発音問題により音声の理解を評価する。

単元（配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Basic Skills for the TOEFL iBT Listening 1 Unit 4～6（6時間）	Physics, Business, Astronomy	「コミュニケーションへの関心･意欲・態度」			
		ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	ペアワーク及びグループワークで時制および場所に焦点を当てた会話練習を行う。	ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		困難な状況を説明し、それに対する適切なアドバイスができる。	ペアワーク及びグループワークで助動詞・受動態に焦点当てた会話練習を行う。	状況を説明し、適切なアドバイスを助動詞を用いて行うことができる。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		物理学・経済学・天文学についてまとまった量の会話や講義を聴き、要旨を把握する。	物理学・経済学・天文学についてのまとまった文を聴く。	物理学・経済学・天文学についてのまとまった文について、内容把握問題に解答することができる。	定期考査のリスニングテストにおいて、内容理解を問う出題により用紙の把握ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識･理解」			
		子音の発音記号と音声を結びつける。	子音の発音記号について、発音練習を行う。	子音について音声を正しく理解し発音しているか。	定期考査の発音問題により音声の理解を評価する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Basic Skills for the TOEFL iBT Listening 1 Unit 7～9 （6 時間）	Literature, Environment, Health	「コミュニケーションへの関心･意欲・態度」			
		ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	ペアワーク及びグループワークで時制および場所に焦点を当てた会話練習を行う。	ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		物事の描写を比較表現を用いて行うことができるようになる。	同一の性質を持つものについて、比較表現や分詞を用いて説明する。	比較表現や準動詞を用いて事物の描写をより詳細に行うことができているか。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		文学・環境問題・健康についてのアカデミックな文を聴き、要旨を把握する。	文学・環境問題・健康についてのまとまった文を聴く。	文学・環境問題・健康についての講義について、内容理解ができているか。	定期考査のリスニングテストにおいて、内容理解を問う出題により用紙の把握ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識･理解」			
		リエゾンなど外国語特有の発音要素を理解する。	音のつながりに注目し、ひとつなぎに聞こえる表現を正しく分割して把握する。	ディクテーション活動をワークシートで行う。	授業内で使用するワークシートおよび、定期考査のリスニングテストにおいてのディクテーション問題の成果により評価を行う。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
Basic Skills for the TOEFL iBT Listening 1 Unit 10～12 （6 時間）	Technology, Geography, Music	「コミュニケーションへの関心･意欲・態度」			
		ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	ペアワーク及びグループワークで時制および場所に焦点を当てた会話練習を行う。	ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		物事の描写や感情表現を関係詞・仮定法を用いて行うことができるようになる。	関係詞を用いて事物の詳細な描写を行う。仮定法を用いて心情等を詳しく描写する。	物事の描写や感情表現を関係詞・仮定法を用いて行うことができているか。	定期考査の筆記テストにおいて、文法理解を問う出題により、適切な表現が書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		科学技術・地理・芸術についてのアカデミックな文を聴き、要旨を把握する。	科学技術・地理・芸術についてのまとまった文を聴く。	科学技術・地理・芸術についての講義を聴き、内容把握問題に正しく解答することができるか。	定期考査のリスニングテストにおいて、内容理解を問う出題により用紙の把握ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識･理解」			
		リエゾンなど外国語特有の発音要素を理解する。	音のつながりに注目し、ひとつなぎに聞こえる表現を正しく分割して把握する。	ディクテーション活動をワークシートで行う。	授業内で使用するワークシートおよび、定期考査のリスニングテストにおいてのディクテーション問題の成果により評価を行う。